女王国奇譚
アマゾネスの掟
The Amazons
その背が集める、民の憧れ。
菊池るち
Ruchi Kikuchi
1

女王様
お
男の……
オギャア
男の赤子でございます
オギャア
ならば
殺さねばなるまい
オギャア
ギャ
オギャア
それがアマゾネスの掟
ギャア
オギャア
……
む

ムーリムリムリ
ムリッ……!!
ダメだわこれ
かわいすぎ！
ないわー
えっ
えっ……
じゃあやる？
やってくれる？
ずいっ
そんな
私達には
……！
そうよね！
ムリよねこれ
この掟
本当にないわー
この子は
女として
育てる事に
しよう！
えぇ〜〜〜!?
女王様〜〜〜！
そして月日は
過ぎ――……
母様しっかり！
しっかりして
下さい！
クレーテー
よくお聞き……
今まで
黙っていたが
実はお前は
男の子なん
だよ
うんなんか
皆と違うと
思ってた！
お前がこの国の
王になる為の事は
ひと通り
教えたつもりだ
この国を
頼む――……
母様ーっ！

10年後
もうよい
ですがまだお髪が
いや
もう限界です
母様……
もういいんだ
現女王クレーテー
前女王の死後クレーテーは頑張った
王である為強く……
〝強く〟と――
王よ

おはようございます
我が王
ああ
おはよう
アイア
今日のご予定…
どうなされました王！
いや今日は化粧やめようかと
ドッドッド
あ
おはよーございまーす
なっ
慎まないかお前達！
ここは女だけの国アマゾン

王……強く生きて……
お前達ーっ！
クレーテーの秘密を知る侍女達は皆戦で死んだ
そうここはアマゾン……
胸は削ぎ
戦いの邪魔!!
欲しいのは子供だけ!!
ベッドイン後殺す
ぎゃえぇ
今日は海の外からの商人と商談があります
男である事はバレてはならない……!!
海の外……最近は多いな
戦わずに対等な商談が可能になったのはクレーテー様の代からです
それだけではありません
戦に向かぬ者が畑で働けるようになったのも
全てはクレーテー様の采配と
軍神が如きお力あっての事
6

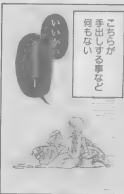
戦士の胸を削がぬようになったのも
痛いしさ
傷が
膿んだら
もともこもないしさぁ
全てはあなた様のお力……
私達は皆
感謝しているのです
あなたに
アイア
女王に
分かっていたけども!
まさか本当に女だけの国とは
女王様ってのは相当美しいに
違いない

お待たせした

ニコッ
ほう
この姿を見て驚かないとは
謁見をお頼みしたニースです
覚えておこう……
この若さで責任者とは大したものだ
そして美男……！
覚えておこう…
ありがとう存じます！
この国は大変豊かな
自然が
つまらない物ですが
あ、
こちらで旬の葡萄をご用意させて頂きました

クワン
クワン
〜〜っ
クルダノ！
も……
申し訳……
チャリ…
鎖……
お前はいつも
いつも！
奴隷ですね
誇りも力も
奪われた者
戦士の国には縁の
ないものですが
気持ちのよいもの
ではありませんね
戦士でもない
少女を殴るとは
はっ
……商談を
進めたい

おい
お前
商談の
続きを
ほっ
しっ失礼いたしました
いえ
お見苦しいものを申し訳ありません
しかしここでしっかりとしたけじめをつけねば
他の者に示しがつきません
……

もっ……
申し訳……

どうしようもない
これがあちらの
奴隷文化
こちらが
手出しする事など
何もない

納得できぬ掟も
お前が女王に
なる事のように
それが彼らのすべき
事なのだから

仕様の
ない事だ
この時代
この場所で
生まれた事
どの理不尽も
仕様のない

あ

シーン……
何をなさるかー!!
うわあああ
ごもっともです……!
「何をなさる」?
先ほどから黙っていれば
王の御前でやりたい放題
それだけでも
万死
その上
「何を」
「なさる」

それは我々に対する
侮辱と見なすが相違ないか?
失礼するっ
あっおい待てっ
しっ

ピシッ
それで
この者を
置いていけ
金で買うようで
気は進まぬが
盗品と後で
騒がれては
敵わん
……
ご勝手
にーっ！
フンッ
ぬっ
失礼
ながら
先ほどの行為
無責任
無計画
およそ王の
振る舞いとは
思えません
ズ
ですが

あの時あなたが
動いていなければ
私が
あの男に
切りかかって
いたでしょう
感服いたします
我が王
アイア
女王様

ゾクッ
近くで見ると
またえらく
可愛い!!
あ
あの…
お前を買うような
形になってしまい
すまない
ギリッ
いっいいえ
そんな
よければこの国で
働いてくれぬか
ひとりの人間
として
カチ
こんな
かよわい女の子
初めて……
戦士の国だから
21
女王様……
うる…
ぼ
僕!
喉元に親近感
うれしいっ

本来ならば
ここは女の国
男の住人など
もってのほかだが
!?
女王の選んだ
者ならば……
許さない理由も
あるまい
しっかりと
働くように
ハイッ
ええ〜〜〜〜〜〜!!
母様 私はもう
よく分かりません……
ドキ
ドキ
あんな女
初めて…
おしまい がんばれ女王クレーテ、アマゾンのために……！